

2012-13年度

ガバナー 公式訪問

クラブ協議会

とき 平成24年8月8日(水)

ところ マロウドイン飯能

飯能ロータリークラブ

司会進行 / 安藤泰雄会長

1. 開会のことば 安藤泰雄会長
2. 挨拶 鈴木秀憲ガバナー
3. 委員会報告 14:00 ~

クラブ奉仕委員会 / 間邊元幸委員長

出席委員会 / 中里忠夫委員長

プログラム委員会 / 大附富義委員(高橋弘委員長代理)

ロータリー情報委員会 / 半田武委員(木川一男委員長代理)

親睦活動委員会 / 服部融亮委員長

鈴木秀憲ガバナー講評 14:15 ~ 14:25

「クラブ奉仕」: 小委員会をまとめる調整役だろうと思っております。いろいろご苦労があるかと思いますが、よろしくお願い致します。

「出席」: 「無断欠席0」になるよう奨励との事。確かに是非そうされた方が良い。MUの推進ですが、欠席の穴埋めだけではなく、たまには出て行って他所のクラブの勉強をしようというふうな気持ちで行かれますと大変参考になります。是非そんな前向きなMUという形でご利用頂けたら有難いかなと思っております。

年間100%出席の方に記念品贈呈というのは励みになる事でしょう。今日も90数%に上方修正されるわけですが大変素晴らしい出席に私は心から敬意を表したいと思っております。

1つだけ上のクラブがあります。行田さくらでは公式訪問は必ず100%です。決して嫌みではありません。何かの物日、記念するような時に「よし、100%を狙おう」というふうな事をされるとよろしいのではないかと思います。

「プログラム」: 大学への移動例会(9/12)「すごいな」と思っております。特にグループ内の他所のクラブに発信しているという事はないのですか。グループ内でお互い他所のプログラムを見て、「これは一寸行ってみようかな」というような事も促進されたら良いのかなと思ひながら見させて頂きました。来年4/20・21の地区大会にはよろしくご出席頂きたい。P23、リスボン大会について。そろそろ企画してご案内したい。欧州ですと日にちがかかってしましますが比較的短い日数で行けるよう

検討中です。「ロータリー情報」: いろいろとメッセージを読んで頂きました。RLIはロータリー独特のものと考えより、ロータリーだけではなく、この方式をご自分の会社や地域団体に採り入れたらよろしいのではないかなと思っております。しゃべる方がしゃべってそれで終わりというよりも参加者全員に必ずお話を頂く。そうした中で皆様方の考え方も分かるわけです。人間はしゃべってみるといろいろ考えていた事のまとまりが出来るというふうに思っておりますので、いろんな所でお使い頂いたら良いのではないかなと思っております。「親睦活動」: 先程、入会3年未満の方と話しましたら、「新しい人達は親睦に入る」という話も伺いました。リスボンと一緒にいこうではありませんか。「親睦」という事では、この前、第5グループのフレッシュマンセミナーで聴いた言葉が非常に印象に残っております。「親睦」は単に飲み食いをするのではなく、奉仕活動の中で親睦を深めよ。要するにお互いに汗をかきながら容易ではない事をして、その達成感の中で親睦が尚更深まる。これはよく日常の社会でもあるかと思ひます。会社でも地域団体でも、日常の動きよりも特別なイベントか何かで皆で一生懸命やって、その結果、更に交流が深まった。是非、そんなような事も含めて、親睦活動を更に進めて頂いたらよろしいかなと感じました。

職業奉仕委員会 / 大木重雄委員長
社会奉仕委員会 / 和泉由起夫委員長
環境保全委員会 / 杉田一昭委員長
新世代委員会 / 土屋良一委員長
国際奉仕委員会 / 新井景三委員長

鈴木秀憲ガバナー講評 14:40 ~ 14:50

「職業奉仕」: 委員長から私の話について感想を言って頂き大変有難く思っております。記念卓話では事前に出た奨学金に対する質問に答えるため、実は職業奉仕の方をショートカットしたのです。「自分と自分の職業を磨く」

これは、常にレベルアップを図る事だろうと申し添えさせて頂きます。例えば、製造業は製品を磨く、商業は商品を磨く。1つの商品を出した時・発売した時が、実は改善へのスタートの時だろうというふうに思うのです。僕は自動車屋ですから自動車の事で言いますと、例えば、メルセデスベンツが一番人気があるのは、僕なりの見方では、新型を発表したその時点で、その車の新たなレベルアップが始まっている、というところです。日本では通常4年でフル・モデルチェンジ。マイナー・チェンジは2年毎位。その、マイナー/フル・モデルチェンジ時に改良点が出て来るのですが、メルセデスベンツの場合、常に改善された物を出して来る、という考え方なのですね。もちろん、部品の供給態勢等がしっかりしていないとちくはぐな事になってしまうのですが、それもしっかりしている。要するに、モデルチェンジしてから1年後の車というのは1年経った分だけの進化をしているのです。外から見た形は変わらないが内部は常にレベルアップをしている。そのように、新たな物を出したから良いというだけではなく、次から次へと改善を行っている。また、メーカーが作った物は単なる「製品」です。そこに、販売される方の工夫や心を込める、使い方の新たな提案・工夫をする、ライフスタイルを提案する、等が「商品を磨く」事の1つになるのかなと思っております。サービス業も同じです。社内マニュアルも、常にお客様の声を聴いて改善して、レベルアップして行く。『我等の生業』は「レベルアップ」というところに焦点を合わせて募集して下さいと職業奉仕委員長にお話してあります。売上や利益を上げる事を目標とするのではなく、結果としてお客様から喜ばれ、売上・利益が上がるという事になって行くのではないかなと思っております。「社会奉仕」：地域でのニーズ、飯能でのRCの立場を考えながらという事で、大変素晴らしいなと思っております。世界遺産のキャラバンもレベルアップしており、今、DVDを製作中、上田知事にも出演をお願いしています。長年手掛けて来た事業についても「(今年は)この事業の必要性は何か」と、年度毎に考えるのも大事な事です。「環境保全」：産業廃棄物委員会に配属されたとの事で、あえて私事を述べさせて頂きますと、行田には協同組合産業廃棄物処理センターという所があります。現在、私が理事長、矢澤氏が副理事長で、2人で取り組んでおります。皆様が環境保全を考えて、産業廃棄物について突き詰めて取り組んで頂くと、我々の扱う物はだんだん無くなって来ます。産業廃棄物は「混ぜればゴミ、分ければ全て資源」になるのです。私共の事業所ではお客様がゴミとして出して来た物を更に分別するのです。ご家庭でも分別という事を訴えられると良いと思います。ご質問頂いた「新世代」にも是非ご協力をお願いしたい。

地区の青少年活動の卓話を聴いて頂き、興味を示して頂き、インターアクトクラブの支援、青少年交換の参加者を募って頂く等、具体的な行動に繋げて頂ければと思っております。「国際奉仕」：米山と連動しての留学生支援、大変素晴らしい事です。

..... 10分間休憩 コーヒータイム.....

会員増強委員会 / 吉田行男委員長
会員選考委員会 / 中里昌平委員(吉田健委員長代理)
職業分類委員会 / 増島宏徳委員長
会報・広報委員会 / 雨間保弘委員長
雑誌委員会 / 市川 昭委員長
ロータリー財団委員会 / 田辺實委員長
米山記念奨学委員会 / 市川洋太郎委員長

鈴木秀憲ガバナー講評 15:25 ~ 15:35
「会員増強」：「会員選考」「職業分類」と、3委員会が協力して、とおっしゃっていましたが、正にその通りでございます。「入りたい人より入れたい人を」ですが、RCが素晴らしいから入りたいという方は是非入って頂きたいような気もしますし、なかなか難しい事ですが、入会后に更に成長する事も期待したいというお話も伺いました。入ったら入れっぱなしではなく、しっかり勉強して頂く。大人同士ですから教えるというより一緒に勉強しようねという形でやって頂ければいいのかなと思います。いずれにしても「相応しい人達が大勢揃い、意義深い例会を企画(会員選考)正にその通りだと思います。女性会員はたまたまいらっしゃらないという事ですね。「職業分類」は今、新しい仕事が沢山出ています。知らないうちにお店が出来ていたりします。フランチャイズ店もお誘いかけする所かと思えます。「会報・広報」：会報と広報が一緒なのですね。補佐のスピーチは録音から起こしているのですか。会報はおっしゃった言葉をその通り入れるのが最高のおもてなしです。ニコニコもスペースがあれば各人のものを丁寧にに入れて差し上げると出す気持ちが増えるのかなと思います。地元メディアは結構ご覧頂いており非常に有効、上手にお使い頂きたい。8回目の公式訪問でケーブルテレビの取材は初めて。素晴らしいなと思います。「雑誌」：いち早く『友』の情報を例会でお知らせするのが大切。公共施設で受け入れて頂けるのは大変有難い。「ロータリー財団」：補助金の使い勝手が良くないという事もあり今年度はこのような形にしました。早めに手を挙げて頂いた方がよいと思います。今日、ベネファクター、ポールハリス・フェロー、多くの方にご協力頂き心より感謝申し上げます。「米山記念奨学」：年度のズレからカウンセラーが代わる事についての質問は他の状況も調べて必ず返事を致します。特別寄付も有難く思っております。

4. 総評 鈴木秀憲ガバナー
5. ガバナー補佐所見 平岡達也ガバナー補佐
6. 閉会のことば 安藤泰雄会長 16:00

次週の例会案内は省略。